



意外と知らない？土用の丑の日！

「土用の丑の日には『うなぎ』を食べよう！」なんて言いますが、そもそも、「土用」と「丑の日」って何でしょう？

「土用」には「季節の節目」という意味があり、春、夏、秋、冬が到来する直前の約18日間の期間を指します。また、「丑の日」は12日に1日、回ってきます。つまり今年は、立秋(8月8日)の直前18日間にある丑の日、「7月30日」が「土用の丑の日」となります。

「土用の丑の日」にうなぎを食卓に出すようになったのには、諸説あります。特に有力なのは、江戸時代の学者「平賀源内」が「丑の日は『う』からはじまるものを食べると縁起が良い」と推奨した説で、夏は食欲不振になる人が増えることから、精のつく「うなぎ」を食べる風習が定着しました。



「Eco列車でいこう！」～第165回～ 190円の大回り乗車。

(CO2排出量の少ない交通機関での旅行や、心が豊かになるような旅行を照会するコーナーです！)



6月3日(土)。「やすらぎ堤」の川風を気持ちよく浴びて、白山駅まで歩いた。

JR規則に「大都市近郊区間内のみを普通乗車券で利用する場合は、**実際に乗車する経路にかかわらず、最も安くなる経路で計算した運賃で乗車することができる**」というのがある。この特例は「新潟近郊区間」にも当てはまるので、**白山駅からできるだけ遠回りして新潟駅へ行く**ことにした。

白山駅7:49発の吉田行に乗車する。沿線は高校や大学が多く、土曜日でも混雑している。「巻」を過ぎると車内がガラガラになった。窓越しに見える「角田山」「弥彦山」の新緑が美しい。

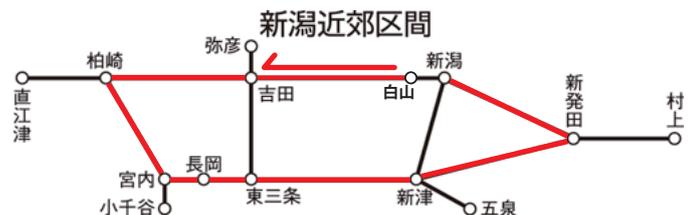
吉田からは柏崎行の2両編成に乗車。「寺泊」「出雲崎」など海をイメージさせる駅がある。越後線は5キロくらい内陸に敷かれており、車窓から海は臨めないが、里山ののんびりした風景が秀逸だ。

柏崎からは長岡行きの快速に乗車。2両編成の車内は混雑しており、なんとか空席を見つける。向かいの老夫婦は、楽しそうに旅の計画を話している。「YONEX」の工場や「宝徳稻荷大社」の赤い社殿を通り過ぎて長岡に到着した。

長岡の駅ビルを散策したいが「途中下車」はできない。その後、新津と新発田で乗り換えて、新潟駅に到着した。

存分に列車の旅を楽しんで、運賃は190円。ただし、途中下車ができないので、食料等は事前に購入することをおすすめする。なお、新潟駅の自動改札に切符を通すと「時間超過」でエラーになるため、有人改札で

「大回りしてきました」と言って、切符を渡すと良い。



白山発	7:49
吉田着	8:34
吉田発	8:42
柏崎着	9:49
柏崎発	9:54
長岡着	10:25
長岡発	10:38
新津着	11:33
新津発	12:12
新発田着	12:43
新発田発	12:47
新潟着	13:35

190円の切符で大回り乗車ができる。

最近の車両は座り心地が良くて快適だ。